

助成対象事業成果報告書（概要版）

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	映画・映像・舞台芸術・防災等に対応したクラウド型情報保障サービスの提供
助成対象事業者名	特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター
助成金の額	3,855千円

【助成対象事業の全般について】

① 助成対象事業の概要	視聴覚障害者に向け、音声透かしや音声解析技術等とスマートフォンアプリ等を使って、音声ガイドや字幕、手話を提供するサービスを行う。
② 助成対象事業の目標	DVD・Blu-ray、映画館、博物館、舞台芸術、ホテル等にPCソフトやスマートフォンアプリを使って視覚障害者用音声ガイドや聴覚障害者用字幕等の配信をインターネット上のサーバーから提供することで、芸術へのアクセス保証を拡大していく。

【平成29年度実施部分について】

③ 助成対象事業の実施内容	<p>アーカイブと配信</p> <p>① 音声ガイド配信：42作品 アーカイブと配信 実績数(予定数) 音声ガイド数 42(40)</p> <p>② 字幕ガイド配信：メガネ用6作品 DVD用3作品 アーカイブと配信 実績数(予定数) 字幕ガイド数 9(10)</p> <p>③ 防災放送 実績数(予定数) 1ヶ所(10ヶ所)</p> <p>映画・映像業界を中心に啓蒙活動を行い対応を進めた。</p>
④ 助成対象事業の成果	スマートフォンアプリによる視覚障害者用音声ガイドは目標をこえる多くの作品に対応できた。聴覚障害者用字幕についてはメガネ型端末の普及の遅れにより対応があまり進まず、防災については諸事情で仕切り直しとなった。舞台芸術向けシステムはほぼ完成したものの、今後さらに開発を進める。
⑤ 補足説明事項	音声ガイド1作品のダウンロード数は300~1500前後。音声ガイドと字幕で、年間3万人を超える利用者が居る。この人数がさらに拡大することで、製作側（コンテンツ提供元）の意識も変わってくる。